

# 石山寺校倉聖教の目録

歴史研究室

石山寺所蔵の聖教の目録については、『年報1993』で密蔵院所蔵の聖教目録「石山寺密蔵院経蔵聖教目録」を紹介した。その目録は、現在深密蔵聖教として一括されている聖教群の江戸時代末期における所蔵状況の一端を示している。石山寺には、それ以外にも数多くの書跡目録が寺誌函や深密蔵聖教中に伝存し、いろいろな時期での、各院坊内の聖教類の所蔵状況が判明する。ここでは石山寺の中心の聖教群の一つである校倉聖教と称される聖教の目録を紹介する。

校倉聖教は、石山寺本堂の後方の斜面にある校倉経蔵内に収納されていたところから命名されたもので、明暦年間に新造された三十合の経箱に分類収納されている。すなわち当時石山寺に所蔵されていた聖教の内から、時代的に平安時代に書写されたものと目されたものを取り集めたものである。現在、この校倉聖教は重文に指定されて、収蔵庫の豊浄殿に移管されている。ここに数合の経箱の墨書銘を掲げたが、この新調に関する墨書銘は三十合の経箱いずれにもあり、明暦元年（1655）9月に一括新造されたことがわかる。また各経箱には、それに収納されている聖教の目録が蓋裏に墨書されており、明暦当時の校倉聖教の分類収納状況が、ある程度判明する。そして、校倉聖教については、その後安永5年（1776）9月に尊賢が作成した目録「石山寺聖教目録」が存在する（寺誌函18号）。それは書入れ、付箋などがある尊賢の草稿本であり、尊賢の浄書本は伽藍経蔵に奉納されたことが、その奥書から判る。その尊賢作成の目録をさらに江戸時代最末、慶応3年（1867）3月に尊信少僧都が書写している（深密蔵第120函11号）。ここにその転写浄書本である尊信書写本を抄出であるが紹介する。なお尊賢書写本の奥書は、尊信書写本の釈文で本奥書と注記したところまでである。なお尊賢は、文化12年（1815）11月、81歳の長寿で遷化した密蔵院第13代住職で、「石山要記」「石山寺年代記録」「石山各院記」などを選述し、また一切経や校倉聖教、薫聖教の整理修補も行っている学僧である（「尊賢僧正略伝稿（寺誌函28号）」）。それをさらに今度は法輪院の尊信が聖教護持のため転写浄書しており、山内住侶の聖教に対する意識が判る。

また石山寺における校倉聖教の明暦当初の分類収納が、この目録を仲介として、現在の状況（『石山寺の研究』所収校倉聖教目録）との対応関係において比較検討できよう。例えば第7函について、蓋裏墨書銘に経軌、三昧耶戒作法、胎蔵界作法、金剛界作法の4結で27巻14帖とあるが、尊賢目録もまた本軌、三昧耶戒、胎蔵界、金剛界に分ち、各々に書名を掲げてあり、明暦の分類をうかがいけるとともに、それ以後の移動については現目録との比較により推定できるのである。（綾村 宏）

〔第八函〕		〔第九函〕		〔第十函〕	
（蓋表）	石山寺 聖教箱	（蓋表）	石山寺 聖教箱	（蓋表）	石山寺 聖教箱
（蓋裏）	第八箱 灌頂部之余	（蓋裏）	第九箱 胎蔵界部	（蓋裏）	第十箱 胎蔵界部之余
	一結受明結縁 三卷三帖		一結義釈 十五卷十六帖		一結義釈 十一帖
	一結行事記 十卷十七帖		通計廿七卷十六帖		一結疏私記 八帖
	都合三結二十二卷廿三帖				其余 五卷廿帖
〔押紙〕	「伝法許可灌頂作法」一巻				都合五卷卅九帖
支度	一巻				新調
	右二巻一臈預石流聖教箱相納者也				明暦元乙年 九月吉日
	寛政六甲寅七月四日（花押）				卅内
（底裏）	明暦元乙年 九月吉日	（底裏）	明暦元乙年 九月吉日	（底裏）	明暦元乙年 九月吉日
	新調		新調		石山寺
	卅内		卅内		石山寺

金剛頂瑜伽三十七尊礼

同蓮花部心念誦儀軌

三摩地法 池上点

金剛頂義訣

三十七尊出生儀

同必要

瑜伽三摩地

同供養次第法

同蓮華花部念誦法

不空三昧大教王法

瑜祇二

瑜祇經

同惣行法私記 又(梵字□□)經立印 三帖

同隨意別行法

同私記 千心

金剛大吉祥成就品

三昧耶品次第觀念

相應經指事

瑜祇經修行法 真如金剛安然

第十三箱

金剛界之余

次第三

金剛界次第

同略次第

同念誦私記

同 法皇

同次第 小島

同略次第 神樂岡長慶公

一帖

四帖五卷

二卷

一卷

一卷

一帖

一帖 欠

一帖

一帖

一卷

一卷

一卷

三帖

一帖

一帖

一帖

一帖

一帖

三帖 欠

一帖

十卷五帖

一卷一帖

一卷一帖

一卷六帖

一帖

一帖

二帖

一帖

同記

同儀軌次第

同抄

蓮花部心念誦次第 少僧

三摩地儀略次第

金剛界大儀軌記

(中略)

第三十箱

雜著部十八之余

顯戒律

授菩薩戒法

授戒作法

五分比丘尼戒本

菩薩戒疏

自恣羯磨作法

四分戒本

羯磨作法

布薩要文

菩薩戒本

東大寺戒壇院受戒式

律序

右三十箱聖教目六遂校合畢

安永五年丙申九月 宝塔院大僧都法印尊賢

令清書奉納伽藍經藏者也此本依草案

留密藏院必以可謹禁他見者也(本奥書)

右石山寺聖教目六一卷此度以尊賢師自筆之

本書寫之為令護持僧侶知聖教篇目無散失

也併以可謹禁他見之事如上記可相守者也

二卷

一帖

一帖

二卷

一卷

一卷

一卷

三卷一帖

三卷

一卷

一卷

一卷

一卷

一卷

一卷

一卷

一卷

一卷

一卷

一卷

一卷

一卷

一卷

一卷

一卷

一卷

一卷

一卷

○校倉聖教經箱墨書銘

〔第一函〕

(蓋表)

(蓋裏)

石山寺

第一箱

請來錄部

一結

十卷

一結

二十卷

一結

二十卷

一結

九卷

內一卷依內供御筆

令納御筆聖教寫也

都合四結五十九卷

新調

明曆元乙年 九月吉日

未 卅內

石山寺

〔第二函〕

(蓋表)

(蓋裏)

石山寺

第二箱

請來錄部之余

一結

三十四卷

一結

二十卷

一結

十五卷

一結

四卷二帖

一結

四卷二帖

一結

四卷二帖

一結

四卷二帖

一結

四卷二帖

諸師灌頂大政官牒文	復一卷	大日經義疏	十一帖 欠 文一一交	諸抄四	胎藏教法金剛名号 義操	一帖
教禪灌頂記	一卷	同疏	一卷一帖 欠	胎藏密号	同灌頂密号	一帖
明海念範行海灌頂注進等	一卷	同疏第一抄	一卷	同諸說不同記	同對受記	七卷 欠
耳呂王院灌頂記	一卷	同經略疏	三帖 欠	同對受記	同對受記	七帖 欠
勝福院灌頂記	一卷 文一一	同供養次第法疏	一帖 欠 三卷	同曼多羅記	同曼多羅記	一卷
興然灌頂記	一卷	同演密抄	三帖 欠	同曼多羅抄	同略圖次第	一卷
灌頂官符 天台	一卷	同住心品疏私記	八帖 欠	同略圖次第	同三部記	一帖 祐一一
延曆寺灌頂行事	一帖	同疏略抄 真興	一帖 文一一	同三部記	同八葉諸說不同記	一帖 文一一
第九箱		同秘要抄	二帖 欠 文一一	同秘義 小島	同秘義 小島	一帖 文一一
胎藏界部第三 此部之中別而為四		大悲台藏普通大曼多羅記	六帖 欠 文一一	同兩伝目六	理界私記 天台	一帖 文一一
經軌一		胎藏界儀軌解釈	三帖 欠	東曼多羅抄	中台八葉觀行玄義口決	一帖
大日經	欠本	第十一箱		百光遍照玉義問答抄	(□□□梵字)抄 千心	一帖
同供養次第法	二卷	胎藏界之余		胎疏井儀軌等序要文 千心	大日經中住阿字門觀	一帖
同持誦次第儀	二卷	次第三	四卷二帖	三部曼茶 人水僧正	靈嚴和尚有台藏根本密契	一帖 文一一
同成就瑜伽	三帖 文一一	胎藏界念誦次第	一卷	第十二箱	金剛界部第四 此部之中別而為四	
同成就儀軌	一卷 欠	△此中一卷石流開書大阿守惠座主弟子融惠筆記也	二卷	經軌一	金剛頂經	三卷 欠
同略撰念誦隨行法	三本 一卷二帖	同 小僧	一卷	略出念誦經	諸仏境界撰真寔經	二卷
大毘盧遮那經廣大儀軌	三卷七帖	同 三井	二卷	分別聖位經		一卷
同成就法	三卷	同略次第 神樂岡長慶	一帖			
同仏説要略念誦法	一帖	同大次第 教日	一帖 欠			
同真言五字儀軌	一帖	大悲台藏持念次第 益信四卷次第 四帖	二卷 欠			
同字輪瑜伽儀軌	一帖	同荒次第	二卷 欠			
胎藏秘密大軌	一帖	胎藏私記 勸 △石流開書	一卷			
疏釈二		同 僧真誓本	一卷 欠			
大日經義疏	十二卷 欠	同 南洞記	一卷 欠			
第十箱		同 高大夫	一帖 文一一			
胎藏界第三之余		胎藏私記	一帖 文一一			
疏釈二之余		同次第 禪林寺大僧正院唐記云々	一卷			

○石山寺聖教目錄

(表紙)

法輪院

石山寺聖教目錄

全

石山寺聖教目錄

藏中聖教久歷年序朽損頗多茲以為校合以今歲

安永五年七月二十五日奉出經藏移而安置密藏院於普

賢院祖師承朗澄律師之影像前謹而數日之間分別同

異少加莊嚴撰定目錄兼頒部門請檢閱者就錄用意

一 請來錄部 二 灌頂部 三 胎藏界部 四 金剛界部

五 蘇悉地部 六 如來部 七 仏頂部 八 經部

九 觀音部 十 諸菩薩部 十一 明王部 十二 世天部

十三 曜宿部 十四 護摩部 十五 作法部 十六 諸集法部

十七 悉曇部 十八 雜著部

第一箱

請來錄部第一 於欠本暫標其名期後時補

此間自第一箱至第六箱御請來之經軌納之其目六全如請來目六所

載故今不出茲清書之時河書加之

第七箱

灌頂部第二 此部中分而為七

本軌一

三昧耶戒儀

四本 内一卷文師筆

金剛界受三昧耶戒行儀

二本

最上乘受菩提戒

一帖

(□□□□□□梵字)

一帖

阿闍梨大曼多羅灌頂儀軌

八本 五卷三帖

与金剛弟子入壇受灌頂法

一帖 文一一

三昧耶戒二

伝法三昧耶戒作法

八卷

付法灌頂千心私記

一帖

同 天台

一帖

灌頂式 広一御

一帖

伝三昧耶戒私記

一卷

金灌問受集 永意

一帖

三マヤ戒要事

一卷

兩部大灌頂作法 千心

二帖

授菩提心戒儀軌 教日撰

一帖 文一一

灌頂次第私記

一卷

胎藏界三

一帖

灌頂事

一卷

胎藏界灌頂儀軌

一帖 文一一

灌頂集注

一卷

胎藏界伝法灌頂作法

三卷

灌頂夜指図

一帖

小壇作法 胎藏界

一帖 文一一

灌頂支具記

一卷

胎藏界伝教儀式

一卷

支度

一卷

金剛界四

四本 三卷一帖

事業灌頂具支分第六五 安然

二帖

金剛界伝法灌頂作法

一卷 文一一

五瓶觀

一卷

同 小島流

一卷 文一一

五色糸

一帖

小壇作法 金剛界

一帖 文一一

灌頂所用物記

一帖

第八箱

灌頂部之余

四本 三卷一帖

天台灌頂決脉

二卷

結縁灌頂三昧耶戒作法 全

一卷

三種悉地法

一帖

同次第 胎藏界

一卷

決楽三種悉地注文

一帖

金剛界受明灌頂次第 禪門

一帖 文一一

金剛弟子儀 大師

一卷

胎藏界同 禪門

二帖 文一一

塔中灌頂次第

一帖

金剛界受明灌頂次第 集記六

一卷 文一一

宮御灌頂用途

一卷

伝法許可灌頂作法

一卷

金冠儒習 天台

一帖

灌頂普記

一帖 文一一

行事七

一帖

正灌頂私記

一帖

東寺灌頂私記 実恵

一卷

榎尾頂儀

一帖 觀祐一一

法皇御灌頂行事記

一卷

榎尾頂儀

一帖 觀祐一一

範賢灌頂記 文帥作

一卷